

●飯塚市営駐車場整備基金条例

駐車場事業特別会計において立体駐車場建設費の事業債の償還金の返済が完了することに伴い、平成25年度から発生する剰余金を施設整備基金として積み立てるものです。

●飯塚市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

平成25年7月から子ども入院に係る医療費の助成対象を小学校6年生まで拡大するものです。

●飯塚市介護サービス事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例

介護サービス事業等の運営から暴力団関係者を排除する措置を講じるものです。

●飯塚市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

市立病院の診療科目のうち胸部外科を呼吸器外科及び乳腺外科に細分化するものです。

(その他の議案)

●契約の締結(飯塚第一中学校増築工事)

同工事について、「泰建工業株式会社」と1億6244万6550円で請負契約を締結するものです。

●土地の処分(旧飯塚リサーチパーク)

旧飯塚リサーチパークの3445.58平方メートルを「高栄土地開発株式会社」に4548万2千円で売却するものです。

議員提出の議案

原案可決したもの

●飯塚市議会委員会条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、委員の選任方法及び在任期間等に関する規定を新たに追加し、あわせて常任委員会の所管の一部変更を行うものです。

●飯塚市議会会議規則の一部を改正する規則

地方自治法の一部改正に伴い、本会議における公聴会の開催及び参考人の招致の規定を新たに追加するものです。

●ブラッドパッチ療法法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書

●配合飼料の価格高騰対策を求める意見書
●中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書

これら3件の意見書は各関係大臣、関係機関等に送付しました。

否決したもの

●中心市街地活性化基本計画調査特別委員会の設置に関する決議

人事議案

教育委員会委員に選任することに同意

清原 正英 氏

山本 峰子 氏

代表質問

会派を代表して7名の議員が、市長の平成25年度施政方針に対する代表質問を行いました。その一部を抜粋し、要旨を掲載します。

同志会

吉田 健一 議員

全国高等学校総合体育大会について

【議員】高校総体バレーボール大会が本年夏に本市で開催されるが、来場者に対する交通手段の確保や観光案内のほか、駅周辺等の美化活動などの取り組みをどのように考えているのか。

【生涯学習部長】選手は専用バスを利用するため、その他の来場者のために新飯塚駅・桂川駅・飯塚バスセンターと各会場とを結ぶシャトルバスを運行する。各会場には観光パンフレットや飲食店等ガイドブックを設置するほか、地元特産品の紹介や販売を行う。また各会場や駅には花壇や草花のプランター、歓迎ののぼり旗などを設置する予定である。多くの方に周知するとともに支援と協力を求め、大会を盛り上げたいと考えている。

公共交通について

【議員】コミュニティバス・予約乗合タクシー運行に対する意見・要望等を受け、どのような改善を行っているのか。
【企画調整部長】予約乗合タクシーにつ

ては各地区の境界周辺地域の商業・交通施設等への運行を増加したほか、複数車両の運行地区では各車両の休憩時間をずらし利用時間の拡大を行った。また、コミュニティバスの筑穂・飯塚線ではコマリ飯塚店にバス停を新設したほか、庄内・飯塚線では白山神社付近にバス停を移設し、利便性の向上に努めている。

食育の推進について

【議員】学校給食における食育の一環として、地産地消の取り組みはどのように行われているのか。

【教育部長】自校式調理場のある旧筑穂地区の小中学校4校及び伊岐須小学校では、地場産農産物をできるだけ積極的に活用している。そのためには地場産食材の安定した供給が求められ、また価格も重要な検討条件となるので、J・A・地域納入業者・農林振興課等と連携・協議検討し、地産地消の拡大に努めていく。

いつか会

藤浦 誠一 議員

指定管理施設の電気料について

【議員】今後、電気料が大幅に値上げされた場合、指定管理料の変更等を行うことは考えていないのか。

【企画調整部長】指定管理制度の導入に係る指針の中で補てんは行わないと定めており、指定管理料の変更予定はない。

【議員】市民サービス向上のために導入した制度であるが、電気料の値上げにより

サービスの低下が懸念されないか。

【企画調整部長】電気料等が大半を占めるような施設については全体経費を再度積算し、施設運営に多大な影響を及ぼす場合は市民サービスが低下しないよう指定管理者と協議が必要と考える。

硬式野球のできる野球場の整備について

【議員】筑穂野球場に観覧席を設け、バリアフリー化等の整備を行い、硬式野球のできる市内球場のメッカとなるような施設にできないのか。

【生涯学習部長】施設整備にはかなりの費用がかかり、それに見合う需要の有無についても精査が必要である。今後、野球関係者の意見も聞きながら、他の野球場の整備等も含め検討していきたい。



筑穂野球場

地域の見守りネットワークについて

【議員】地元企業との連携による見守りネットワークの取り組みについて、どのように考えているのか。

【保健福祉部長】昨年県は、新聞販売店の日常業務を通じ、高齢者等の異変を察知した時に通報する「見守りネット」ふくおかに関する協定を各新聞販売店連合組織と締結した。本市もこの協定を活用し市内の新聞販売店に協力依頼を行っている。また、中央福岡ヤクルトから協力したい旨の申し出もあり、九州電力や上下水道局からも協力をいただくことになっている。今後、市内事業所との連携による見守りネットワークを構築していきたい。

公明党

田中 裕二 議員

観光の振興について

【議員】今後の市全体の観光振興については、どのように推進していくのか。

【経済部長】今後は本市の歴史や文化を再認識するとともに、旧伊藤伝右衛門邸や嘉穂劇場、長崎街道飯塚宿や内野宿などの観光拠点を中心に、まちおこしや地域活性化に取り組み人々との連携、更には近隣自治体との広域連携を図りながら、新たな地域の魅力を発見し、内外にPRを行っていく。

【議員】観光行政の推進は地域活性化のために重要である。各種団体や関係機関と

連携して、行政としてできる限りの支援をしていたら、観光客が増加するような取り組みを行ってほしい。

浸水対策について

【議員】近年の集中豪雨により市内全域で甚大な浸水被害が発生しているが、その主な原因は何か。

【都市建設部長】過去最大規模の降雨により県営河川や市営河川及び水路の水位が上昇し、それに伴う内水氾濫と水路の溢水氾濫の混雑が起こったためである。

【議員】県営河川の改修事業の進捗状況はどのようなになっているのか。

【都市建設部長】庄内川、碓川、建花寺川、熊添川、庄司川で事業が実施されており、庄内川は25年度、碓川は26年度に竣工予定で、その他の河川の竣工年度は未定だが、今後も県と協議を重ね、事業の早期実現に向け要望を行っていく。

【議員】市ではどのように内水対策事業に取り組んでいるのか。

【都市建設部長】飯塚市防災(浸水)対策基本計画に沿って、市内全域の浸水被害軽減を目的に、排水ポンプ場や調整池の新設及び水路の改修等を実施している。今後とも継続的な工事を実施し、浸水対策事業の早期完成に取り組んでいく。

民主党

佐藤 清和 議員

飯塚駅周辺の活性化について

【議員】中心市街地では積極的な取り組みがなされているが、中心市街地以外の商業の活性化の取り組み状況はどうか。

【経済部長】穂波地区の天道商店街の売り出しに対する補助金や、筑穂、庄内、穎田地区における地域の特産品のPRや地域活性化のために各地区で開催される産業祭り等へ補助金の支出を行い、さまざまな形で商業の振興を支援している。

【議員】飯塚駅周辺の商業の活性化についてはどのように考えているのか。

【経済部長】菰田地区の活性化は必要であるとの認識のもと、昨年は景観の改善、防犯機能の強化を図る目的で街路灯の改修工事に補助金を支出し、地域のイメージの向上、集客力アップを図る取り組みを行った。今後、商店街関係者等と協議し活性化に向けた取り組みを検討したい。

【議員】活性化には色々な課題があるが、市場や炭都ビルの有効利用は必要不可欠であり、今後も積極的に取り組んでほしい。

市民後見人養成講座について

【議員】25年度から実施する市民後見人養成講座についての市の考え方は。

【保健福祉部長】成年後見制度の申立て件数は全国的に年々増加している。本市では高齢者の1割が認知症と診断されており、潜在的な認知症患者の存在も推測されることから、制度の重要性は認識している。今後、弁護士等の専門職不足も見込まれ、市民後見人の育成に努めることとした老人福祉法改正の趣旨を踏まえた上

でこの講座を実施していきたい。

【議員】この講座で後見人に必要な知識を習得しても活躍の場がなければ意味をなさない。単なる福祉講座で終わらせないために、どのように考えているのか。

【保健福祉部長】今後、家庭裁判所と慎重に協議を行い、後見人等として推薦できる仕組みを作りたいと考えている。

飯塚クラブ

松延 隆俊 議員

定住人口の増加について

【議員】本市が定住人口増加策を講じる上で、人口誘導のターゲットは福岡都市圏だと考える。現在、福北ゆたか線は電化されたが、単線のため輸送量において欠点がある。複線化とともに、福岡市西部地域で導入されている福岡市営地下鉄とJRとの相互乗り入れについて、JR九州篠栗線・筑豊本線整備連絡協議会を中心に取り組んではどうか。

【企画調整部長】同協議会の当初の設立目的は電化と複線化であったが、複線化については莫大な事業費と期間を要するため断念され、電化開業となった経緯がある。しかしながら複線化等については定住促進に多大な効果があることから、引き続き調査・検討を行っていく。また、地下鉄とJRの相互乗り入れについては、今後、同協議会における情報交換等の場で話題提供を行い、検討していきたい。

健幸都市いづかの実現に向けて

【議員】子どもや高齢者のスポーツ活動の現状はどのようなになっているか。

【生涯学習部長】子どもについては運動する子としない子の二極化傾向にある。高齢者については競技志向の高い大会は盛んになっているが、健康増進を目的とした運動を定期的に行っている人はまだ多いとは言えない状況である。

【議員】健幸都市の実現のためにも、老朽化している体育施設の整備が必要である。特に陸上競技場の整備は必要と考えるが、そのような考えはないのか。

【生涯学習部長】充実した施設を市民に利用してもらうことが望ましいが、大規模施設については近隣自治体施設の有効活用を図ることも必要であると考えている。

【議員】体育館、陸上競技場を含め、飯塚市運動公園に集約した形での体育施設建設を強く要望する。



陸上競技場

伯楽会

梶原 健一 議員

自治基本条例について

【議員】現在、自治基本条例の策定に向けて取り組んでいる中、条例制定にあたっては、まちづくり協議会の意見を反映する必要がありと考えるが、今後どのように進めていくのか。

【企画調整部長】自治基本条例の策定委員会を平成24年10月に設置し、現在までに5回の委員会を開催しており、まちづくり協議会からは6名の委員を選任している。現在、策定委員会は本庁舎で開催しているが、今後は各支所・地区公民館でも開催し、多くの市民に協議内容の周知を図り、自治基本条例の策定に向けて、市民の機運が高まるように努めていきたい。

【議員】自治基本条例の制定は、本市の方向性を定める重要なものであるため、十分に市民の意見を反映させて飯塚市の発展につながるようにはしてほしい。

教育・文化について

【議員】生涯学習の振興とまちづくりについては、どのような考えを持って取り組んでいくのか。

【生涯学習部長】振興策としては、市民一人一人の学習活動を促進するための方策や地域住民等の力を結集した地域づくり、家庭や地域社会における子どもが育つ環境改善の方策が必要であると認識している。また、地域全体の教育力を向上さ

せるためには、新たな学習需要を市民の学習活動へと繋げていく「知の循環型社会」の構築が生涯学習の振興に必要なものであると考えている。

【議員】経済面をはじめ、諸環境や条件に恵まれなくても、生涯学習によるまちづくりによって、本市が新しい時代を切り開いていけるように、強く要望する。

新政会

江口 徹 議員

いじめ・体罰等に関する対策について

【議員】大津市や大阪市で起こった児童生徒の自殺を受け、飯塚市の現状を心配する市民は多い。全児童・生徒や保護者及び教職員等を対象にいじめ・体罰等に関する調査を行い、結果を公表すべきと考えるがどうか。

【教育部長】いじめに関する調査は、定期的に実施し、不登校連絡協議会に報告しているが、ホームページ等では公表していない。情報発信については検討していきたい。体罰調査については、文科省への報告期限が4月であり、結果は公表する予定と聞いているが、その集計結果の公表詳細等を受けて検討したい。

【教育長】体罰に関する調査結果については、整理が出来次第、これまでの状況や、今後どういった教育を展開していきたいという意思表示を教育委員会もしくは各学校を通じて行うことは必要だと考

えている。

老朽危険家屋の解体撤去について

【議員】空き家等の適正管理に関する条例が可決されたが、多くの問題が提起された。その中でも老朽家屋の撤去費用は、本来、家屋等の所有者が負担すべきであり、資力がある方や会社所有の場合は、市が負担すべきでないと考えるが、どうか。

【市民環境部長】本条例の目的である市民の生活環境の保全及び安全安心、防犯、防災のまちづくりを推進するためには、一軒でも老朽危険家屋の解体撤去を促すことが大切だと考えており、補助対象の条件としては所得制限を設けないことと、現時点では判断した。

【議員】前述のような事案に補助金を出すべきか、ぜひ考え直してほしい。もしくは、行政が代わって撤去し所有者からその費用を徴収すべきであると考える。

一般質問

市の一般事務について11名の議員が一般質問を行いました。その一部を抜粋し、要旨を掲載します。

小幡 俊之 議員

学校給食調理室整備工事について

【議員】平成23・24年度に行われた自校式の給食調理室整備における給排水衛生設備工事の際、厨房設備はほぼ同じメー

カーのものが導入されているが、メーカーを統一しているのはなぜか。

【教育施設課長】給排水設備工事の業者が厨房設備を選定しているものである。

【議員】工事の仕様書にメーカーの型式の記載があり、業者は他のメーカーを選択できない。自由に選択できるような仕様書や設計書を改めるべきではないか。

【教育施設課長】厨房機器リストについては、誤解を招かないような記載の方法を検討していきたい。

【議員】平成24年度の給食調理室建築一式工事2件では入札参加者全員が予定価格と同額で入札し問題となったが、今後同様の入札に対してどう対処するのか。

【契約課長】最低制限価格と異なる額で全者が入札するような不自然なケースがあれば、入札執行後、契約前に公正入札調査委員会を開き、その後必要があれば入札参加者全員に対し個別に事情調査を行い、その結果、入札を無効とするなどの対応を行う場合もある。

【議員】その対応だけでは難しい。不自然な入札を行った業者は失格、指名停止にするなどの処置も検討すべきである。

また、談合防止の手段の一つとして、県も電子入札の導入を進めており、本市も早急に導入すべきではないか。

【総務部長】県内自治体共同での運用が望ましいが、福岡県では進捗していない。北部九州情報化推進協議会における重要課題として提起し、検討していきたい。

道祖 満 議員

市有財産の管理について

【議員】旧穎田第2保育所の売却決定後に現地を確認したところ、エアコンの室外機がなくなっていたが、なぜか。

【保育課長】穎田第2保育所が穎田保育所へ統廃合した後、日常管理する者がいなくなり盗難にあったものである。

【議員】今後、学校の建て替え等により不要になる備品が多数生じるが、どのように管理するのか。

【契約課長】今後は多くの施設の統廃合を控えているため、有効な市の財産を効率的に活用できるよう関係各課と連携し、飯塚市物品管理規則に基づき適正かつ効率的に管理できる体制を作っていく。

子ども・子育て支援について

【議員】休日等の子育て支援事業とは、どのような取り組みか。

【児童育成課長】保護者が病気や冠婚葬祭及び仕事等により日曜、祝日等に家庭で看ることができない小学校1年生から4年生までの児童を預かる事業である。

【議員】今後は児童福祉法の整備に伴い児童クラブの対象が6年生まで拡大されることが予想されるが、どの程度の施設整備が必要となるのか。

【児童育成課長】2カ所で施設整備が必要になると考えられる。今後は関係各課と協議を行い環境整備に努めたい。

【議員】今後の子育て支援についてどのように取り組んでいくのか。

【児童社会福祉部長】平成26年度までに子ども・子育て支援事業計画を策定し、更に子育て支援を充実していきたい。

宮嶋 つや子 議員

中泉産業廃棄物処分場計画について

【議員】直方市中泉の最終処分場建設計画に伴い、穎田公民館にて業者による説明会が開催されたが、そこでは、どのような質問や意見が出されたのか。また市として、住民の声をどう聞かれたのか。

【環境整備課長】違法な廃棄物の持ち込みや遮水シートの耐久性、汚水処理の方法などについて多くの意見が出された。市としては、住民の意見をしっかりと受け止め、今後提出する意見書に反映させたいと考えている。

【議員】県の紛争予防条例に基づく説明会は、まだ終わっていないのか。

【環境整備課長】この説明会で終わったとは認識していない。県も出席する説明会の開催を働きかけていきたい。

【議員】内住地区では違法な廃棄物の投棄による悪臭や汚水流出で、住民は環境や健康への被害に苦しみ続けている。中泉の計画は今なら止められる。住民の立場にたって取り組むべきである。

【市民環境部長】市としては、住民の生命または生活環境を守るという立場でしっかり対応していきたいと考えている。

幸袋中学校区、小中一貫校について

【議員】建設地を基本構想検討会の投票で

決めたのはなぜか。また、建設協議は進んでいるのか。

【学校施設整備推進室主幹】検討会の意向確認のため、どこがふさわしいか投票が行われた。その後、建設適地検討協議会の協議結果を受けて決定した。現在は、幸袋全体で協議組織を作り進めている。

明石 哲也 議員

学校危機管理について

【議員】先日、筑穂中学校で窓ガラス損壊事件が発生したが、不審者侵入等に関しどのような対策を講じているのか。

【教育施設課長】ほとんどの学校の正門・裏門に門扉を取り付け、センサー式パトライトを設置したほか、警備会社に委託し、異常があれば施設内の非常ベルが作動し警備会社へ通報されるようになってくる。

また、本年4月に開校する穎田小中一貫教育校は公民館等との複合施設となっており、学校関係者以外の出入りもあるため、学校共用部分と公民館部分の境界に施錠できる扉を設置している。

【議員】それだけでは不安が残るので、防犯カメラを設置するなど、対策の強化に向け検討してほしい。

小中一貫教育について

【議員】小中一貫教育校とそれ以外の小中学校で、授業内容に違いはあるのか。

【学校教育課長】学習内容は国の学習指導要領で定めてあり、違いはない。ただし小

中一貫教育校では、小学校5、6年生に対し、一部の教科について中学校の教科担当職員が授業を行う「一部教科担任制」を実施することとしており、穎田小学校では平成23年度から理科・音楽・美術の授業において既に実施している。

【議員】英語・体育の一部教科担任制の導入、さらに全小学校への音楽専門教員の配置についても検討をお願いしたい。また、授業以外のクラブ活動でも英会話部やゴルフ部など、特色のあるものを導入すれば活性化につながると思うので、検討してほしい。



飯塚市立小中一貫校穎田校

永末 雄大 議員

飯塚市汚水処理基本構想について

【議員】下水道事業は基本構想の目標最終年までに約500億円の費用を要し、事業の完成までに60年かかるとのことであるが、見直しを行う考えはないのか。

【上下水道事業管理者】構想の見直しをする時期にきていると考えている。

【議員】生活雑排水対策として、浄化槽を単独処理から合併処理へ移行する際の補助金制度を設けることはできないか。

【環境整備課長】移行に対する補助の効果の有無も含め、今後検討する。

【議員】市民にとっては命の水であり、処理されずに河川に流入する汚水がゼロとなるように早急に取り組んでほしい。

飯塚市教育施策要綱について

【議員】教育を充実させていくことが本市の定住化促進につながると考えるが、教育施策要綱はどのような内容か。

【教育総務課長】この要綱では子どもたちに未来を切り開く確かな学力や心豊かな人間性を培うこと、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進を図るなどの本市の基本目標を定めている。

【議員】未来を切り開く確かな学力として、今後英語教育を重視していく必要があると考えるが、本市の取り組み状況は。

【学校教育課長】外国語活動として5、6年生で週1時間の指導を必修とし、コミュニケーション能力の素地を育成するとともに、外国語指導助手の活用を促進

等を行っている。

【議員】さらに英語教育に力を入れ、本市の教育を特徴あるものにしていくことで定住人口の増加に結び付けてほしい。

瀬戸 元 議員

環境施策について

【議員】平成24年3月に策定された第2次環境基本計画は、第1次環境基本計画の失敗を踏まえて、どのようなコンセプトで策定したのか。

【環境整備課長】第1次環境基本計画で目標を達成できなかった反省点を踏まえ、施策・事業を絞り込みPDC Aサイクルが確実に行えるように、コンパクトで機動性のある計画をコンセプトとしている。

また、今回の計画は4つの基本目標と4つの重点プロジェクトというシンプルなる構成であり、確実に実行できる内容になっている。

【議員】よりよい環境の形成を目指すためにもしっかりと取り組んで計画を実行してほしい。

PM2.5の対応について

【議員】中国の大气汚染によりPM2.5と呼ばれる物質が日本に飛来し、健康被害が懸念されている。本市での大气汚染調査の取り組み状況は。

【環境整備課長】福岡県では、県内10カ所に自動測定器を設置し、1時間毎の測定結果をホームページで公開している。本市においても市のホームページにリンク

して情報を提供している。

【議員】本市にも自動測定器は設置されているのか。

【環境整備課長】近隣では直方市、田川市に設置されているが、本市には設置されていない。環境省は、全国に556局設置している自動測定器を1300局に増設する計画である。より正確な情報を得るため、本市にも設置されるように、県の関係部署等に働きかけていきたい。

上野 伸五 議員

特別報酬等審議会の開催について

【議員】当該審議会は定期的に開催すべきではないのか。

【人事課長】社会経済情勢の変化、他市及び類似団体等の報酬額の改定の状況等により、改定の必要があると認められる場合に開催すべきと考えている。

【議員】状況確認や額の適正性の検証等の観点から定期的な開催を望む。

職員の特定団体への再就職について

【議員】退職した市職員の特定団体への再就職はやめさせるか、第三者機関等に監視させてはどうか。

【副市長】団体等が職員を雇用するのは、長年培ってきた行政職員としての能力や経験等を必要としているからと考える。再就職により市に不利益等を与えるような違法行為等があれば別だが、現在のところ第三者機関等の設置は考えていない。

【議員】今後退職した市職員の再就職先等を注視し、場合によっては調査特別委員会等の設置の申し出をしたい。

孤独死の防止対策について

【議員】高齢者だけでなく一人暮らしをするあらゆる方に対応できる孤独死防止策は構築できたのか。

【高齢者支援課長】対象者によって通報・相談先が異なる関係各課が協議し、孤独死防止対策や相談、通報窓口の一本化に対する共通認識をしたところであり、その窓口は高齢者支援課としたものである。

【議員】今後も関係機関と連携し、孤独死防止対策に努めてほしい。

松本 友子 議員

市立病院について

【議員】当初は、医師の確保ができるというところで地域医療振興協会を指定管理者として選定しているが、現在の医師の確保の状況はどのようになっているのか。

【健康増進課長】当初計画の常勤医師32名を確保することはできていないが、地域医療振興協会に対し、強く申し入れを行い、市としても積極的に協力することで、現在は常勤医師28名、非常勤医師26名を確保しており、常勤医師に換算すると33名体制となっている。

【議員】市立病院の建て替えについて、当初より事業費が増加している理由は、

【健康増進課長】プロポーザルを実施する

時点では約30億円で計画をしていたが、現在は約40億円の事業費となっている。その理由としては、外来の待合スペースの拡充、入院病室などの室内空間の確保や地震対策として免震構造を採用したことなどによるものである。

【議員】今後の病院のあり方を確認するためにも、地域医療振興協会から提出されている現在の事業計画書を見直すべきではないのか。

【健康増進課長】事業計画書は、指定管理者選定時の平成20年に提出されているが、今回の市立病院の建て替えにより設備面の課題が解消され、病院機能が充実されることから今後の運営方針の見直しは必要であると考えており、地域医療振興協会と協議し、検討していきたい。

【議員】30年間という長い期間の指定管理であり、必要に応じて事業計画を見直すべきである。地域医療の中核としての役目を果たせるよう頑張ってもらいたい。



飯塚市立病院

守光 博正 議員

防災・安全対策について

【議員】二瀬地区（新高雄・川端）の浸水対策の現状はどうなっているのか。

【土木管理課長】道路の浸水被害箇所については、側溝や溜ますのしゅんせつなど、早期の対策が必要な箇所は既に実施している。排水路や道路側溝の改良など関係機関との協議が必要な箇所については、早急に協議し、できるところから対策を実施していきたい。

【議員】この地区は高齢化が進んで自主防衛が難しい現状であるため、早急に対策をしてほしい。

【議員】国の防災・安全交付金の活用方法はどのように考えているのか。

【土木管理課長】通学路の要対策箇所に関係機関との協議など調整ができ次第、防災・安全交付金を活用して対策を講じていきたい。

【議員】市民の防災意識を高めるためにも、専門家による講演会など実施してはどうか。

【総務課長】国・県事業では水害シンポジウムや国民保護講演会などにおいて、学識経験者による講演を実施している。また、本年度は県との共催で防災シンポジウムを開催し、自主防災組織の取り組みに関する講演や九州北部豪雨による被災自治体の事例発表などを行う予定であり、このような事業を開催することで、市民の防災意識の高揚を図っていきたい。

【議員】群馬大学大学院の片田教授による防災教育は素晴らしいものだと言っている。防災意識を高めていくためにも、本市での講演をぜひ実現してほしい。

岡部 透 議員

オートレース場の運営について

【議員】オートレースの払戻率を75%から70%に変更し収益増を図っているが、現状は見込みどおりになっているのか。

【事業管理課長】平成24年4月から平成25年1月末までの売上額・入場者数ともに前年度の同時期より減少しており、現時点では改正の効果は表れていない。

【議員】社会福祉協議会が経営する食堂・売店の売上は減っており、経営存続のために補助するという状況に陥らないか危惧する。社協にオートレース事業の一翼を担わせることは困難と考えるので、社協本来の目的遂行のためにも食堂等の経営は外部業者に委託してはどうか。

【社会・障がい者福祉課長】社協における事業費確保の自助努力の上で、地域福祉活動に必要な経費を市が補助することが本来のあり方と考える。社協の収益事業として食堂等の経営に携わることはいよいと思うので、経営を改善し、多くの方に来場してもらえる食堂にしてほしいと考えている。

【議員】現体制でのオートレース事業の存続は困難であり、負の遺産になりつつあると感じるが、地域経済や他のレース場

への影響を考えるとすぐに廃止もできない。存続のためには包括的民間委託の導入が必要と考えるが、どうか。

【副市長】関係団体と一体となり、競輪サテライト場とのコラボ発売所設置、民間電話投票サイトの導入などの市場拡大策により場外発売等の拡充に努めているところであるが、包括的民間委託も有効な手段の一つであると認識しており、検討する時期にきているとは感じている。



八見 雄二 議員

介護支援ボランティア制度について

【議員】高齢者の生きがいづくりの一環として、他市で実施されている介護支援ボ

ランティア制度とはどういったものか。

【高齢者支援課長】この制度は元気な高齢者が事前にボランティア登録した上で介護施設等での催し物の際に、特技を生かした芸能披露や、囲碁・将棋の相手等のボランティア活動を行い、その活動に対しポイントが付与され、ポイントを換金できる仕組みとなっている。

【議員】この制度を本市として取り組む考えはないのか。

【高齢者支援課長】本市には既に多くのボランティア活動をする団体があり、この制度のメリット・デメリットを調査し、今後のあり方について関係団体等と慎重に検討したいと考えている。

飯塚駅前の整備について

【議員】都市計画マスタープランでは菰田地区について中心拠点の南の玄関口におさわしい市街地整備を進めるとの方針であるが、飯塚駅前の具体的な計画は。

【都市計画課長】中心市街地活性化基本計画策定の際の市民提案では炭都ビルの撤去や建て替え要望が出された経緯があるが、今のところ具体的な計画はない。現在、地元関係者の方々による活性化に向けた話し合いが行われており、今後、情報交換をしながら状況の把握に努め具体的な要望等が出れば協議していきたい。

【議員】地元関係者と十分協議していただき、市としてどのような支援ができるのかを検討してほしい。

議会を傍聴してみませんか。



本会議や委員会（委員会は人数制限あり）はどなたでも傍聴できます。

議場へは3階の傍聴席入口のほか、4階からのご入場いただけます。

次回の定例会は6月10日（月）に開会の予定です。日程の詳細については、議会ホームページをご覧ください。議会事務局（電話0948-22-0214）までお問い合わせください。

議会に関する情報をホームページで公開しています



議会のホームページでは、会議の日程や議員名簿、委員会名簿のほか、本会議の会議録や、それぞれの常任委員会や議会運営委員会、特別委員会の会議録なども掲載しています。

●ホームページアドレス

<http://www.city.iizuka.lg.jp/giji>